

---

# 色恋恋慕

マココ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

色恋恋慕

### 【Nコード】

N2622BA

### 【作者名】

マココ

### 【あらすじ】

三度の飯より読書。寝る間も惜しんで読書が第一信条だと自負する大学三年生女子、一色早春と、三度の飯より早春。寝る間も惜しんで早春が第一信条だと触れ込む社会人三年生一色春都の蹴っても殴ってもへこたれない話

## 春が来る

言葉は世界だ。

文字の羅列の世界に魅了されてから今この瞬間まで、その考えが揺らぐことは無かった。

たぶん、これからそれは変わらないだろう。

けれど。

「やはら早春！」

いつになったらおれと一緒に住んでくれるんだよ…

おれ、もう我慢できないんだけど」

「……」

けれど。

言葉は無力だ。

そう思うようになった主たる原因、一色春都のその何の含みもないかのような無邪気な笑みを浮かべた顔に一発お見舞いしてやりたいと思ったのは、兄妹のよしみで言わないで置いてあげようか…。



## その出会い、時期尚早につき

「春ちゃん。

お母さん運命の人に出会っちゃった」

それが小学三年生　　当時九歳の私に母が告げた再婚報告であつた。

父の存在は物心ついた頃から既になく、母が言うにはお父さんは私が生まれる前にお星さまになった、らしい。

らしい、というのは、まあ今まで挙げたように母の物言いはかなりおつむの軽いものなので信じるに足るかどうかという判断がいまいちついていなかったからで。

その上、母は何の躊躇いもなく娘である私を騙す。

それはもう、なんだか母親としてどうなんだろう、と今になって思い返しもするが、当時の私はいたいけな弱い少女である。

「春ちゃん、サンタクロースさん不景気の煽りにあつて休業しちやっただつて」

「春ちゃんのお気に入りのマグカップ、勝手に戸棚から落ちて割れ

「ちゃったみたい」

「春ちゃん。横断歩道を渡るときは両手を挙げて全速力で走りきらないと怖いお化けが春ちゃんのことおいかけてくるのよ」

…もちろん、すべて騙された。

我ながらなんて素直な子どもだったんだと感心さえする。

そんなわけで、小学三年生のわたしはほんの少し人を、というか母を疑うということを知っていた。

だから、母の再婚話も私を騙そうとしているだけだ、と。

たとえ再婚話の翌々日に母が知らない男の人を家に連れてこようが、その男の人にパパって呼んでねと笑いかけられようが、今回はやけに手の込んだ方法をとるな、と思った程度。

そして、小学四年生になり教会にて母が結婚式を挙げてようやく私は再婚話は本当だったのだと理解した。

実に残念な記憶である。

そしてその結婚式にて、現在私が多大なる迷惑を被っている兄、  
色春都と出会ってしまったのだ。

…こちらにもまた実に残念な記憶である。

## その出会い、時期尚早につき 2

結婚式当日。

気づいたら教会の椅子に座っていた。

「…あ、起きた？」

にこり、と笑う顔はとてもきれいだと思った。

キラキラと光るステンドグラス。

白い石造りの空間は柔らかな静寂をつくり出している。

「…ん？」

まだ眠たい？」

そう言つて、呆然としている私の髪を撫でるのは今までに見たことない人だった。

おかしい。

今は春休みで、朝寝坊してもよくて、宿題もないから大好きな本をたくさん読むことができるはずで。



「……」

キヨロキヨロと辺りを見回すと木製の椅子にたくさんの人が座っていた。

そこにお母さんの姿はない。

「華絵さんなら、もうすぐ出てくるよ」

だから、もう少し僕と待ってしようね。と続ける見知らぬお兄さん。そもそもあなたは誰ですか？と言葉にすることもできないで、混乱する頭を精一杯はたらかせる。

……ゆめ？

そっか、ゆめ。

夢なら、寝れば醒めるかな…

重たくなっていく瞼に抗うことは出来なかった。

まどろみのなか、かわいいなあ、とかいう声を聞いた気がした。

眠る私に構うことなく、結婚式は始まった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2622ba/>

---

色恋恋慕

2012年1月8日19時45分発行